

平成 29 年 都市環境委員会協議会（12 月 7 日）

要望というか、希望を幾つか述べさせていただきます。

高槻では今、ビッグプロジェクトといわれる事業が計画されているのが非常に多くて、私の知る限りで幾つぐらいあるのかなと思っています。その中でも、特に、これは市民の皆さんも期待をしているというか話題性がある事業ですので、希望も含めてちょっと意見を申し上げておきたいと思います。

今、お話になっているレストランですね、西エリアの、これの選択を今考えているということですが、ボーネルンドやバルニバービみたいに、単独で話題性がある、非常にそのボーネルンドにしてもバルニバービにしても、その名前を聞いただけで市民の方が、あっ、というような反応があるんでね。指定管理者の中でやってしまうというよりは、別に考えていただけたらなと、これ希望です。

それから、屋外のトイレなんですけども、屋外に限らないんですが、よく昔のトイレの配置は男性と女性、同等の比率だったんじゃないかなと、どこ行っても思うんですけど、女性がよく並ばれているという光景を見ます。例えば、サービスエリアとか、市民会館であったり、地方であったり、女性のトイレに配慮が必要じゃないかなというふうに私は思っていますので、お考えいただければなと思います。

ネーミングライツとか非常にそういう意味でも話題性もありますし、どんどんそういう手法、ベンチも今、半分ぐらい何か希望があるということですから、例えば、木を植える権利、植樹権みたいな、命名権じゃないですけどそういうのを考えていってもおもしろいのかなと思います。

それから、市民の方に清掃していただくというのは、これ非常に私はいいことだと思っています。市民の方が、安満人倶楽部という一つの団体はありますけれども、一般の市民の方に関心を持ってもらえるのに非常に重要だと思いますので、大賛成でございます。

それから、指定管理者次第で内容は随分変わるというふうに思います。11ページの魅力アップミーティングという、こういう構想されているようですが、指定管理者選定次第で随分内容が変わってくると思いますので、事前にお聞きすると幾つかそういうことをやっているところがあるというふうに聞いていますが、高槻の場合は市民とともに育てつづける公園という、そういうスタンスは過去にも余りないのかなという気がしますので、そういうのをしっかり吟味した上で指定管理者の選定をお願いしたいなというふうに思っております。

とにかく31年の一部開園、全面開園が33年ですね、本当にここでまた高

槻の魅力が発信されて、高槻に交流人口がふえて将来的には定住人口がふえると、こういう一助に、ツールになればというふうにも期待もしていますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。